

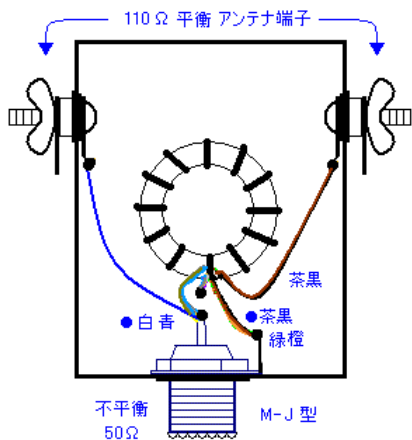
# アンテナバラン 組立部品セット DB-110H-v2

50Ω 不平衡 : 110Ω 平衡 0.5MHz~60MHz  
 許容入力電力 : 連続 100W (CW 200W, SSB 300W)  
 サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

## ||||| 50Ω : 110Ω (112.5Ω) バランの作り方 |||||

- ①、6本組被膜より線を、コアに、12回巻きます
- ②、その被膜線の両端末とも、2本線の3組にして結線ねじり合わせます
- ③、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします  
(結線のジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- ④、プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- ⑤、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑥、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

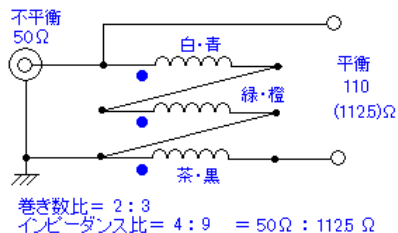
### 構成図



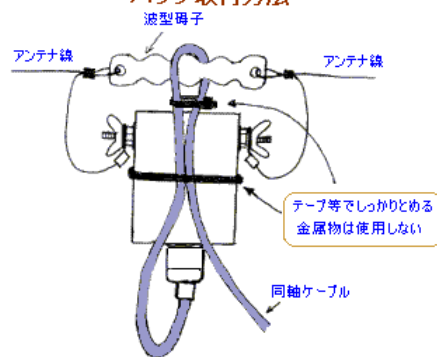
### 組立完成例



### 回路図



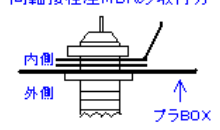
### バラン取付方法



### アンテナ端子取付方法



### 同軸接栓座MBRの取付方

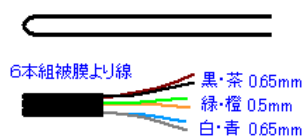


### 部品表

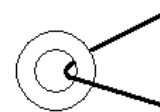
フェライトコア 2643801002---1
6本組被膜より線---55cm
M型接栓座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型碍子---1
結束バンド---2

## コアの巻き方

1. 6本組被膜より線を  
半分ほどで折り返します



2. 6本組被膜より線を  
コアに約半分の長さで通します



3. 半分の 6本組被膜より線を  
6回巻きます (コア内通過数)

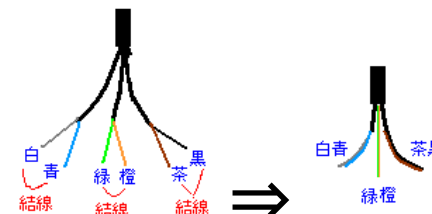


4. もう半分の6本組被膜より線を  
図のように同様に6回巻きます  
(コア内通過数)合計12回巻きます



### 5. 端末処理

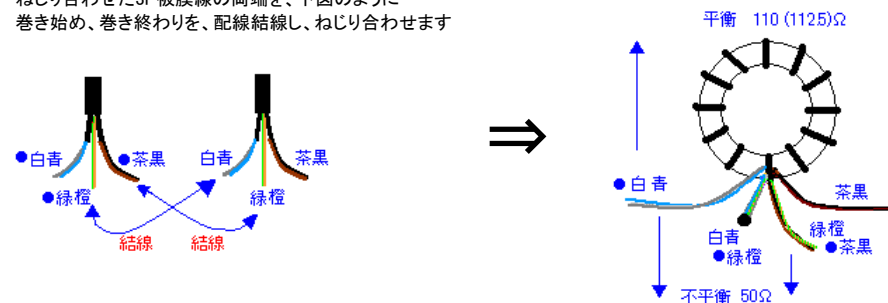
コアに巻いた3P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます  
白、青 / 緑、橙 / 茶、黒、2本線を 結線ねじり合わせます



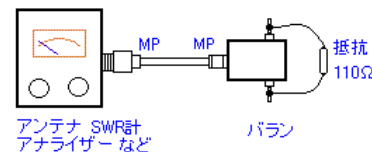
### 6. 端末配線

ねじり合わせた3P被膜線の両端末を、下図のように  
巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます

結線ジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します  
(緑橙 白青)



### SWR測定方法



抵抗は短く接続します  
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

### コア完成例



有限会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14  
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>  
 E-mail [info@ddd-daishin.co.jp](mailto:info@ddd-daishin.co.jp)